

平成30年度

「運営に関する計画」

大阪市立加美小学校

平成30年4月

大阪市立加美小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果から平均正答率では、国語Aが対大阪市比95.7%、国語Bが対大阪市比93.4%、算数Aが対大阪市比92.6%、算数Bが対大阪市比91.5%という結果となり、大阪市平均正答率より、平均約6.7%下回っている。平均無回答率は、対大阪市比で126~186%と大きく上回っている。また、経年テストの結果からどの学年でも大阪市平均正答率より、教科によりバラつきはあるものの平均約5点下回っている。

また、児童生徒の問題行動等生活指導上の諸問題に関する調査の結果から、共通理解した指導方針に基づき、報告・連絡・相談を徹底した。打ち合わせを頻度に行い、いじめアンケートを活用し児童の状況の把握に努めた。いじめの解消に向けては、早急に対応し解決に努めている。また、休みがちな児童には、家庭と連携し協力を図りながら、スクールカウンセラー・こども相談センター・区子育て支援室等の専門機関とも連携し不登校解消に努めている。

中期目標**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

- 平成33年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる」と答える児童の割合を、90%以上にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成29年度~32年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年100%にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成33年度の小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を、75%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成33年度末の保護者アンケートにおける「学校は、加美ふれあい広場など、家庭・地域と連携した、特色ある取り組みを進めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を85%より向上させる。
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)
- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「1日当たりどれくらいの時間、読書しますか。」に対する不読回答を20%以下にする。
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成33年度の全国学力・学習状況調査における「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「全くしない」と答える児童の割合を、平成28年度より減少させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成33年度の児童・保護者アンケートの「学校の授業はよくわかる」等の授業にかかわる肯定的な回答の割合を昨年度より上回る。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成32年度末の校内アンケートにおける「手洗いをしっかりと行っている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- 平成33年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における立ち幅とびの平均の記録を、大阪市平均以上にする。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

学校園の年度目標

- ① 小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を、70%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- ② 年度末の校内調査において、「学校は、特色ある取り組みを進めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を平成29年度(92.1%)で維持する。
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)
- ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を、80%以上にする。
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である反復横とびの平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

学校園の年度目標

- ① 小学校学力経年調査における「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「全くしない」と答える児童の割合を、平成29年度より減少させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ② 年度末の校内調査において、「学校の授業はよくわかる。」等の授業にかかわる肯定的な回答の割合を平成29年度(保82.8%、児84.7%)より上回る。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ③ 年度末の校内調査において、「英語などの外国語を進んで使っている」と肯定的に答える児童を平成29年度(60.4%)より上回る。
(施策6 国際社会において生き抜く力の育成)
- ④ 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」において、教員の児童へのICT機器を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を75%以上にする。
(施策6 国際社会において生き抜く力の育成)

- ⑤ 年度末の校内調査において、「手洗いをしっかりと行っている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を平成29年度(91.5%)で維持する。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- ⑥ 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、立ち幅とびの平均の記録を、大阪市の平均より向上させる。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立加美小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p style="text-align: right;">(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p> <p style="text-align: right;">(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を、70%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">(施策2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、「学校は、特色ある取り組みを進めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を平成 29 年度(92.1%)で維持する。</p> <p style="text-align: right;">(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を、80%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>『いじめについて考える日』を設定することにより、「いじめは起こりうる」という認識のもと、「いじめは絶対に許されない行為である」ことを学校全体で再認識をする。その上で「いじめを許さない学級・学校づくり」に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>平成 30 年度に学期に 1 回以上いじめに関するアンケートを実施する。また、認知したいじめについては、学年会、生活指導部会を開き、学校全体で共通理解し、解決するようにする。</p>	
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>強調習慣を設け、校内の巡視をし、ルール の 定着を図るために児童に指導を行う。また、生活カードの項目に「学校のルールは守れましたか」の項目を追加することで、定期的に行動を振り返られる機会を設定する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>生活カードにおける「学校のルールは守れましたか」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>規範意識の醸成を図るために、「学校安心ルール」を活用する。生活指導支援員などと連携を図り、</p>	

環境を整える。	
指標 暴力行為を繰り返す加害児童数の割合を前年度より減少させる。	
取組内容④【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 不登校気味の児童については、学校・家庭・関係機関との連携を密に行い、児童の不安を取り除くようにする。また、不登校児童については、状況を適切に把握し、家庭、スクールカウンセラー、生活指導支援員等とも連携し、当該児童に応じた多様な支援を行う。	
指標 新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	
取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】 道徳、総合的な学習の時間、特別活動の時間を使って、学期に1回以上自尊感情を高めるゲームや集会を行い、児童が互いに認め合う関係を築き上げられるように取り組む。	
指標 各学級の活動時に、互いの良いところを認め合う場を週に複数回設けることで、目に見える形の賞賛回数が月1回以上になるようにする。	
取組内容⑥【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校行事やPTA・地域との関わりのある行事について、学校だより、学年だより、学校ホームページ等で情報発信する。地域の見守り隊やPTA活動などを通して、学校・家庭・地域との連携を図る。	
指標 学校だより、学年だよりは月に1回発行、学校ホームページは行事ごとに更新することで、保護者アンケート「学校は、学校だよりや学年だより等で、教育活動や学校生活の様子を、わかりやすく伝えている」の項目の肯定的回答の割合を前年度以上にする。	
取組内容⑦【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 地域の図書ボランティアの方や学校図書館補助員を活用し、図書室を毎日開館する。また、本の紹介や時期に応じた記事を「図書館だより」に載せたり、図書委員会の読み聞かせ等の活動を工夫したりすることで、子どもが本に触れる機会を増やし、読書への意欲を高めるようにする。さらに朝の読書タイムを充実させ、読書ノートの活用と学級文庫の充実を図ることで、読書をする習慣を身につけさせる。	
指標 週1回の読書タイムや教科学習に「調べ学習の時間」を確実に確保し、学校図書館の活用を工夫することで、来室者を昨年度より増やすことにより、読書ノート（低学年…100冊、高学年3000ページ）達成児童を昨年度より増加させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立加美小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より8ポイント減少させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の2割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である反復横とびの平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「全くしない」と答える児童の割合を、平成29年度より減少させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、「学校の授業はよくわかる。」等の授業にかかわる肯定的な回答の割合を平成29年度(保82.8%、児84.7%)より上回る。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、「英語などの外国語を進んで使っている」と肯定的に答える児童を平成29年度(60.4%)より上回る。 (施策6 国際社会において生き抜く力の育成)</p> <p>○ 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」において、教員の児童へのICT機器を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を75%以上にする。 (施策6 国際社会において生き抜く力の育成)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、「手洗いをしっかりと行っている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を平成29年度(91.5%)で維持する。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、立ち幅とびの平均の記録を、大阪市の平均より向上させる。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力への取組】</p> <p>読書を含めた家庭学習の大切さを啓発する。</p>	

<p>指標</p> <p>平野区の学習の手引きや読書ノートを利用することで、学力経年調査児童質問紙の「学校の授業時間以外に普段1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」に対して「全くしない」と答える児童の割合を、平成29年度より減少させる。</p>	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力への取組】</p> <p>日々の授業改善を図り、各教科等での学習やモジュール学習を通して、基礎学力を向上させる。</p>	
<p>指標</p> <p>モジュール学習で漢字検定に向けた取組を週1回以上行い、漢検に合格する子どもの割合を6割以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>国際クラブの活性化を図り、多文化共生教育を推進する。様々な国の遊びや楽器に触れることを通じて、多文化共生理解を深め、また、C-Netとの連携や国際クラブの取組等を通して、全学年が外国語に親しめるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>遊びを通じた国際理解の場を全学年で年1回以上行う。また、モジュール学習や総合的な学習の時間を通して、英語などの外国語を進んで使えるようになる。</p>	
<p>取組内容④【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>PCやタブレットPCの基本的な扱い方等、ICTを活用した授業や研修会を行う。また、どの学習活動で、ICT機器を活用したかをまとめ、効果的な活用法を共通理解する。</p>	
<p>指標</p> <p>授業中でのグループ交流等、様々な場でのICT機器の活用法を工夫し、授業の中で児童が月1回以上ICT機器を活用し、学習効果について検証する。</p>	
<p>取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>「なわとび週間」「かけあし週間」を各々年1回以上設定し、「運動週間」「運動集会」で内容を工夫する等、子どもたちが体を動かす楽しさを知り、週3回以上の運動を自ら進んで行うようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>生活カードの項目を「外で元気に遊ぶ」から「1日1回外で運動をした」に変更し、年9回実施する中で、肯定的に答える児童を増やしていく。</p>	
<p>取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>「跳の運動・俊敏性の運動」について研修を行い、体育の授業で継続して指導することで子どもたちに跳や俊敏性を養うようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>体育の校内研修を年1回以上実施することで授業改善を図り、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、反復横とびの平均の記録を、前年度より向上させる。</p>	
<p>取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>保健だより、学級指導、栄養指導、保健指導などを通して、健康を意識した「手洗いの大切さ」や「ハンカチ持参」を啓発していく。また、手洗いうがいのDVDを貸出したり、生活カードの取組を実施したりする中で「なぜ、手洗いが大切か」を子どもたちに指導することで、衛生に対する意識を高める。</p>	
<p>指標</p> <p>保健だよりを月1回発行し、「手洗いの徹底、ハンカチ・ティッシュペーパーの持参」を呼びかけ、衛生への理解を深めながら、学級指導、栄養指導、保健指導などを学期に1回行い、生活カードを使用した取組を年9回実施し、「手洗いの大切さ」や「ハンカチ持参」を啓発していくことで、学校で行うアンケートの「ハンカチ持参」の割合を前年度より高める。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

次年度への改善点